

## 事業実施と地域公共交通計画等との関連について

協議会名:	広島市地域公共交通活性化協議会陸上交通分科会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>広島市は人口約120万人、面積約900km<sup>2</sup>で、市域内の主な公共交通として、JR山陽本線、呉線、可部線及び芸備線、広島電鉄宮島線及び市内線、新交通システム(アストラムライン)等の様々な鉄軌道系公共交通機関並びに約600系統の路線バスがある。</p> <p>平野部周辺の丘陵地等では、昭和40～50年代にかけて数多くの団地が開発され、こうした団地では住民の高齢化が進み、免許返納等により交通手段を持たない高齢者等の移動困難な住民が増加している中、幹線交通や医療機関、商業施設等へアクセスする移動手段の確保が課題となっている。</p> <p>このため、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を活用しながら、公共交通の維持確保を図っていくこととしている。</p>